

# 派遣留学生帰国報告書

\* 復学後の情報を入力してください

記入日	2017年6月21日		
所属学部	法経学部		
所属学科・専攻	総合政策学科		

## 1. 留学先について

留学先大学名	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校						
留学先所属学部等	Business Administration						
留学期間	出発日 2016/8/25	入学日 2016/9/6	修了日 2017/5/21	帰国日 2017/8/2			
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート		<input type="radio"/> 民間アパート		<input type="radio"/> その他( )		
	通学時間	5分以内			<input type="radio"/> On campus		
	通学方法	徒歩					
	居室スペース	個室	<input type="radio"/> ( 2 ) 人部屋	<input type="radio"/> その他( )			
	共有スペース	完全個室	<input type="radio"/> キッチン	<input type="radio"/> トイレ	<input type="radio"/> バス	<input type="radio"/> リビング	<input type="radio"/> その他
食事	自炊 30 %	学食 40 %	外食 30 %	その他 ( ) %			
保険	海外旅行保険(名称)						
	派遣先大学指定の保険(名称)	UW-Milwaukee 2016-2017 International student health insurance				<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入	
	その他						
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)						
	成田 ⇄		シカゴ(飛行機)		⇄ ミルウォーキー(バス)		

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	220万		円
出処			
自費	貯金	円	アルバイト
援助	両親	138万	円
奨学金	JASSO	72万	円
その他	千葉大学助成金	10万	円
	その他	( )	

## 2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金	2万	円	その他( )	円
留学中	海外送金		キャッシング	その他( クレジットカード )	

## 2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	デビットカード、クレジットカード
住居にかかった費用	デビットカード、クレジットカード
その他	デビットカード、クレジットカード

## 2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			16万	円
海外旅行保険			14万	円
CSSMA			3万	円
査証・在留許可証			2万	円
住居	\$	6,800	70万	円
食費	\$	1400 (meal plan)	30万(15万+15万)	円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費	\$	500	5万	円
その他大学に支払った経費			35万	円
光熱費				円
その他(旅費)			30万	円
その他(交際費)			15万	円
その他( )				円
その他( )				円

## 3. 学業面

履修科目名	種類 <sup>ex. 正規、聴講</sup>	単位数	単位互換認定申請の有無			
			有		無	
1 Intro to financial accounting	正規	4	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
2 Intro to management stats	正規	4	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
3 Intro to entrepreneurship	正規	3	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
4 Advanced Listening, speaking & notetaking skills for Intntnl's	正規	4	<input type="checkbox"/>	有	<input type="radio"/>	無
5 Weight training	正規	1	<input type="checkbox"/>	有	<input type="radio"/>	無
6 Intermediate accounting	正規	4	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
7 Managerial accounting	正規	3	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
8 Principles of finance	正規	3	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
9 Entrepreneurship	正規	3	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
10 Beginning guitar	正規	3	<input type="checkbox"/>	有	<input type="radio"/>	無
11 Basketball	正規	1	<input type="checkbox"/>	有	<input type="radio"/>	無

## 3-1. 授業科目の選択、登録方法

一応2,3ヶ月前には登録を済ませなければ人気の講義はすぐ定員オーバーになってしまうので注意が必要です。登録の方法としては"Paws"と呼ばれる学生ポータルのようなウェブサイト上で登録をします。交換留学生は最低12単位、最高18単位まで登録できます。

## 3-2. 授業内容、方法に関して

会計やファイナンスなど方法論を学ぶものは大抵一方的な講義形式で金曜日にディスカッションという名の復習講義がセットになっています。それ以外だと先生と生徒の双方向のコミュニケーションがある授業が千葉大の授業に比べて多い気がしました。

## 3-3. 語学力について

もはや完全に理解することは不可能なので大意をつかんで推測するという感じで授業を受けていました。ランダムにトピックが飛ぶ授業が一番理解に苦しみました。最初の3ヶ月は絶望しますがそれからは耳が慣れてきて、わからないということにも慣れて来ます。

## 3-4. 図書館など学内施設について

図書館は金曜土曜を除いて24時間空いているのでよく遅い時間にも利用しました。その他によく利用する建物はそれぞれの授業が行われる建物を除いては、ユニオンと呼ばれるライセンと学食と大学の運営事務所が一緒になった建物です。そこで昼食をとったりイベントが行われることがあります。体育館のジムは設備ががよく整っていて誰でも利用できるのです。おすすめです。

### 3-5. その他

昼食を一番安く済ませるには数あるユニオンのお店の中でも Tacobell を利用すると良いと思います。クランチーラップが大体3ドルちょっとでお腹いっぱいになります。

## 4. 生活面

### 4-1. 住居について

私は Sandburg hall の East tower に住んでいました。2人部屋か1人部屋が4つついた1つのスイートでキッチンやシャワーを共同で利用して生活します。先輩にキッチンがついているところを勧められたのでここにしましたが、キッチンのついてない寮だと電子レンジもないのでキッチンのあるところにしてよかったと思っています。2人部屋と1人部屋が選べますが、費用面と英語を上達させたいために2人部屋にしました。2人部屋の良いところは寂しくならないところや友だちが増えるところ、悪いところは1人の時間がなかなかとれないこと、思うような生活をおくれないことです。具体的には部屋に常に誰かいるので寂しくはありませんが、夜遅くまでうるさかったりすると眠ることが出来ず朝大変なことになります。個人的にはクリスマス休暇等で誰もいなくなったときにすごく寂しくなってしまったので2人部屋をおすすめします。

### 4-2. 食生活について

寮に住んでいるほぼ全員がミールプランという食堂を利用するプランに加入します。それが通期で大体15万くらいします。その金額が Sui ca のように学生証にチャージされ、その分だけ寮の食堂や学食を利用できます。キッチンのない寮に住む場合、食事を取る選択肢はこのミールプランか外食に限られますが、キッチンがあれば自炊も可能です。食堂のご飯はそんなにまずくないしバリエーションも豊富なのでそんなに飽きることはありませんでした。どうしても日本の味が欲しかったときは日本食料理店やラーメン屋などがミルウォーキーにはありますのでいつでも食べられます。

私は前期は節約のためなるべく自炊をしていましたが後期は学校が忙しく、ほぼミールプランに頼らざるをえませんでした。

### 4-3. インターネット環境、携帯電話について

全寮、全構内Wi-Fiが通っています。携帯についてはソフトバンクの「アメリカ放題」というシステムを使っていたので日本のものを利用できました。ただアメリカの電話番号はあったほうが便利だなと感じることは多々ありました。

### 4-4. 服装について

冬がとにかく寒すぎて凍ってしましそうです。想像以上だったので現地でコートとブーツを買いました。しかし建物の中は暖かいので安心です。

### 4-5. 健康管理について

一度だけ風邪を引きました。その時は日本から持ってきた薬でなんとかしました。ちょっとした喉の痛みはこちらのトローチがよく効きます。

## 4-6. 保険、OSSMAの利用

利用していませんが万が一のためには必要かと思います。

## 4-7. 課外活動について

私は最初投資と起業関係のクラブに所属していましたが、投資のものはだんだん行かなくなっていきました。起業関係の団体では週一回ミーティングがあり、ワークキングや地元の起業家を呼んで講演をお願いしたりしています。そういったつながりが出来たことが何より良かったと思います。またAsian student organization というものがありそれが主催する学期に一回のパーティーに行くと多くのアジア系の友人の作ることが出来ました。

## 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

寮の近くのメイヤーさんの家で毎週金曜日に留学生向けに夕食を振る舞ってくれるイベントによく足を運びました。たくさんの留学生に会えるし無料でご飯がいただけるのでおすすめです。

## 4-9. 日本から持参してよかったもの

筆記用具は日本のもののほうがクオリティが高く使いやすいです。

## 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

日本の冬用のコートは秋用のジャケットだと思っていいです。

## 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

みんなフレンドリーなので積極的に話しかけないと損だと思います。とは言え私もあまり積極的に行くタイプではありませんが、自分から自己紹介するだけで違うと思います。

## 4-12. 余暇の過ごし方

## 旅行

先述した起業関連の団体の全国ミーティングに出るためにフロリダまで行きました。先生や地元の起業家達が料金を負担してくれたので航空券代だけで済みました。(4日間)  
ボストンまで就活イベントに参加しに行きました。(3日間)  
ワシントンDC、ボルチモア、NYに旅行(2週間)  
アリゾナ、LA(2週間)  
オースティン、テキサス州に友達に会いに行きました(1週間)

その他 \*気分転換やストレス発散法など。

平日はガッツリ勉強、週末はパーティーという生活が染み付いていました。メリハリがあっ  
てリズムが出来ていたと思います。  
時々カフェに行ったり湖畔を散歩するのもいいと思います。

## 5. その他

### 5-1. 留学先大学について

UWMはウィスコンシン大学のミルウォーキーキャンパスと捉えていいと思います。ですがそれぞれのキャンパスにほぼすべての学部があって日本のキャンパスの捉え方とは少し違いますが大方一緒です。人種構成も様々で実に多様な人々と出会えます。私が特にこのミルウォーキー校について強調したいことは現在この学校は本当に起業について力を入れています。キャンパス内の空き地に2019年にビジネスの建物とは別にEntrepreneurshipのための建物ができます。その意図は専攻に関係なく起業を視野に入れてもらうためらしいです。UWMを起点にミルウォーキー、ひいてはウィスコンシン全体に起業家精神を根付かせて経済を発展させていこうという狙いです。なので起業を考えているすべての人におすすめの留学先です。

### 5-2. 留学希望者へのアドバイス

UWMは他のアメリカの協定校よりも英語の基準が低いです。その理由は学生全体のレベルが少し低いかなと感じることからも明らかだと思います。しかし中には本当に優秀な人もいて、私の一番の友だちはハーバードから転入してきました。またメンサ会員の友達もいます。ビジネスの分野しか知りませんが教授陣もとても優秀な方が多くすごく良い学習体験ができることは間違いありません。

また他のアメリカの協定校に留学していた友達から聞いたのは「周りに何も無い」「車がないと何も出来ない」ということでしたが、ミルウォーキーはウィスコンシン州で1番の都市なのでキャンパスからバスで20分くらいでバーやクラブなどが立ち並ぶダウントウンに行くことができますし、ミシガン湖のほとりにある公園で自然も楽しむことができます。都会過ぎず田舎過ぎず本当に丁度いい環境だと思いました。ミルウォーキーはあなたが想像しているアメリカ留学を体験させてくれるだろうと確信しています。

## 5-3. 留学を終えて

留学に来てから変わったことなどは月間レポートに書きましたのでこちらにはアメリカに住んで感じたことを書きたいと思います。

それは人種差別は厳然として存在しており、黒人白人間の格差は明らかだということです。今まで同じ肌の色に囲まれてきた私は人種など気にしたことはなく、キング牧師やオバマによって黒人差別はなくなったと思っていました。しかしそんなものは表面上のただのまやかにすぎません。試しにアメリカの議会でもみてみてください。ほとんどが白人です。また、黒人の経営者やビリオネアをすぐに思いつきますか？殆どが白人ですよ。（これをホワイトプリビレッジと呼ぶようです）それに対して道端で会う物乞い達の大方は黒人です。ミルウォーキーに来てはじめてルームメイトに注意されたのは川を渡って西の方にはあまり行くなと言うことです。川を渡って西の方に行くとそこはゲットーと呼ばれる貧民街的なものが広がっており犯罪多発地域です。その住民の殆どは黒人です。また、メキシコ系の人々も同じような目に遭っています。なのでまだまだ平等への道は程遠く、平和のためにやるべきことはたくさんあるのだと、スタート地点を理解することが出来ました。

なので、日本に居ながらしてアメリカの政治を理解するなんて到底ムリです。日本の人々はトランプ当選の意味が全然わからなかったと思います。想像してみてください、ザ・政治家みたいなヒラリーが当選したとしたら今までのアメリカのままです。つまり上記のような社会に何の変化も期待できないわけです。もしあなたがアメリカに住んでいる既得権益も何も持たない市民だとしたら、「それならば変わり種のトランプに一丁任せてみるか！」という気になりませんか？色々な解釈の仕方があると思いますが私はこれが一因だと考えています。

いずれにせよ、大統領選という重要な時期にアメリカにいたこと、アメリカの問題を感じる事が出来たことは私に新たな物の見方を与えてくれました。

お疲れ様でした